



第27回国民文化祭・とくしま2012

The 27th National Cultural Festival Tokushima 平成24年9月1日[土]—12月14日[金]

今秋、「全国初」2度目となる国民文化祭を開催します。
その土地ならではの文化を高めるとともに、
文化の力を積極的に活用したまちづくりを推進する
「新しい形の国民文化祭」です。



”背景”

本県では、平成19年秋に開催した「第22回国民文化祭・とくしま2007(おどる国文祭)」により、文化に対する関心が飛躍的に高まり、平成20年度以降「県民文化祭」をリニューアルするとともに、「4大モチーフの魅力発信」や国民文化祭の「成果の継承」、「次世代の育成」に取り組んで来ました。



美しい色を染め出す阿波藍

阿波人形浄瑠璃の農村舞台公演

阿波おどりで、にぎわうまち

ジュニアオーケストラの練習

その集大成として、平成24年に「おどる国文祭5周年記念事業」の開催することを計画し、文化庁に提案をしていましたところ、文化庁から本県の提案、これまでの取り組みを高く評価していただいた結果、第27回国民文化祭として開催することとなりました。

”徳島県の挑戦！”

「文化の力でまちづくり!」をテーマに全国初2度目の国民文化祭を開催します。「人材の育成」「伝統文化の継承」「地域の活性化」を図ることにより、「あわ文化」の力を積極的に活用したまちづくりを推進します。

① 人材の育成

豊かな感性や柔軟な発想により、地域の連帯感を育み独自性を活かしたまちづくりを担う人材の育成（徳島交響楽団ジュニアオーケストラ、子ども歌舞伎、美馬市能楽教室、特定非営利活動法人 全国邦楽合奏協会の設立など）

② 伝統文化の継承

徳島ならではの個性と魅力を創造・発信することによる伝統文化の継承（人形浄瑠璃街道、農村舞台、阿波人形浄瑠璃と演劇を融合させた新たな作品など）

③ 地域の活性化

地域ならではの文化を観光や特産品開発につなげる地域の活性化（踊りフェスティバル、御所たらいどんフェスタ、藍竹人形「やっとなさ」など）